

**江馬蘭齋(春齡・元恭)** 大垣藩主の侍医ながら、妻を治療できず、46歳にして江戸に遊学、関西蘭方医の先駆になった。

えまらんざい

義経千本桜・1747 =

美濃国大垣で、代々版木彫りを営む板屋鷺見荘蔵の長男に生まれる。母は仕職の娘。名は元恭。

**徳川吉宗没**・1751 = 4歳 :

母の縁で、大垣藩医初代江馬春齡元澄に書道を学ぶうち、秀才ぶりを見込まれて、その養子となり、

・・・ 1756 = **9歳** :

**大岡忠光没**・1760 = 13歳 :

錦絵始・・・ 1765 = **18歳** :

**田沼意次老中**1772 = 25歳 :

解体新書・・・ 1774 = **27歳** : 江馬家を継いで2代春齡となり、大垣藩主戸田氏教の侍医となる。

・・・ 1781 = 34歳 : 大垣藩士の娘と結婚。

蘭学階梯・・・ 1783 = **36歳** :

この間、長男門太郎が誕生。

**田沼意次失脚**1786 = 39歳 :

寛政改革始・1787 = 40歳 : 後に文人画家として名を成す長女細香が誕生。

初の横綱・・・ 1789 = 42歳 : 三人目の子柘植が誕生するも、産後の病気で妻が死去、続いて長男が夭折、悲しみ以上に、自ら治療できなかつた無力感にとらわれ、蘭方を学ぶことを決意、

異学の禁・・・ 1790 = 43歳 : 藩主山本氏の娘佐野と再婚すると、藩主に願い出て許可を得、

ウツノ来日・1792 = **45歳** : 取りすぎる子を振切り、藩主の参勤交代に従って江戸に出、杉田玄白から「解体新書」の講義を受ける。

松平定信引退1793 = 46歳 : 前野良沢にも師事し、高齢での学習を励まされて、オランダ語と西洋医学修得に専念、

わが 正月・1794 = 47歳 : 大槻玄沢主催の第一回新元会(オランダ正月)に出席、

写案・・・ 1795 = 48歳 : 大垣に戻ると、自宅を開業、併せて美濃国初の蘭学塾(好蘭堂)を開いて教え始め、藩主から褒詞を賜る。

古事記伝・・・ 1798 = 51歳 : 漢方医の力が強い保守的地域で、診察治療を受けるものがほとんどいないなか、長く難病で苦しんでいた京都西本願寺法主文如上人の治療を依頼されて上洛、その完治に成功すると、一気に名声が広まり、在京中連日多数の患者を診察、弟子入りする者も続々と現れる。

宣長没・・・ 1801 = **54歳** :

一九藤栗毛始1802 = 55歳 : 三〇石加増、百石となる。

青洲麻酔手術1805 = 58歳 : 「家訓十二か条」を書く。

質素儉約をモットーに、貴賤貧富隔てなく平等に慈悲深く接し、不断の勉学も怠らず、前野良沢が自宅新築資金に困っているのを知ると、愛蔵の書物を処分して得た金を贈るなどし、江戸蘭学者番付で前頭4枚目。

ウツノ船狼藉・1807 = 60歳 : 隠退。松齋家督を継ぎ、三代春齡として藩医となる。

・・・ 1810 = **63歳** :

**高田屋拿捕**・1812 = 65歳 : 司馬江漢が蘭齋を訪問。

黒住教・・・ 1814 = 67歳 : 「江波医事問答」。

伊能測量終・1816 = 69歳 : 訳述書「五液診法」刊。

杉田玄白没・1817 = 70歳 : 訳述書「泰西熱病集訳」完成。

**水野忠成老中**1818 = 71歳 :

群書類従完結1819 = **72歳** :

シボリ事件・1828 = **81歳** :

適塾オープン・1838 = 91歳 : 没した。

「人づくり風土記(岐阜)」, 門玲子「江馬細香・化政期の女流詩人」, 「本朝医人伝」,